

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2010-64898(P2010-64898A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-207735(P2009-207735)

【国際特許分類】

B 6 5 H 5/22 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 5/22 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月23日(2012.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

処理機械にシートを搬送する装置であって、

フィーダが設けられており、該フィーダは、ずれ重なり状態にシートを搬送するための搬送ステーションを備えている装置において、

前記搬送ステーションに位置調整兼加速ステーションが後置されており、

前記搬送ステーションと前記位置調整兼加速ステーションとの間に、シート後縁のための、空気力式または機械式に作用する持上装置が設けられており、

前記持上装置の作動中に戻し運動を行う搬送装置が設けられていることを特徴とする、
処理機械にシートを搬送する装置。

【請求項2】

前記持上装置は、相並んでシート搬送方向に対して横向きに配置された幾つかの吹込ノズルを備えており、前記吹込ノズルは、前記搬送装置の戻し運動中に空気ジェットを吹き込む、請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記持上装置は、シート搬送方向に対して横向きに給紙平面上に配置された旋回可能なフラップを備えており、旋回可能な前記フラップは、前記搬送装置の戻し運動中に給紙平面から外へ旋回する、請求項1記載の装置。

【請求項4】

処理機械にシートを搬送する方法において、

シートを、フィーダにおいて、ずれ重なりシート流れで搬送し、

シートを、ずれ重なりシート流れから個別化して、個別化されたシートを、給紙平面上に配置された位置調整兼加速ステーションに搬送し、

前記フィーダを停止し、

シートの戻し搬送中にシートの後縁を持ち上げることにより、前記フィーダの停止中にシートをずれ重なりシート流れに戻し、

シートがずれ重なりシート流れに戻されたあとで、フィーダを再始動し、シートを前記位置調整兼加速ステーションに搬送することを特徴とする、処理機械にシートを搬送する方法。

【請求項5】

シート後縁を、機械式に持ち上げる、請求項4記載の方法。

【請求項 6】

シート後縁を、空気力式に持ち上げる、請求項4記載の方法。